

職業奉仕の手引き： 実践しよう

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

「職業奉仕」という概念

「ロータリーの目的」（前頁を参照）は、ロータリーの存在目的とロータリアンの責務について記した哲学的な声明です。職業奉仕は、「目的」の第2項を土台としており、この項で、ロータリアンは次のことを奨励し、育むことが求められています。

- 職業上の高い倫理基準
- 役立つ仕事はすべて価値あるものという認識
- 社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする

職業奉仕はどのように実践できるでしょうか。以下にいくつかの方法をご紹介します。

- 例会で、各会員が自分の職業について話し、互いの職業について学び合う
- 地域社会での奉仕プロジェクトで職業スキルを生かす
- 高潔さを重んじて仕事に取り組み、言動を通じて模範を示すことで倫理的な行動を周囲に促す
- 若者のキャリア目標を支援する
- 専門能力の開発を奨励し、指導する

職業奉仕はロータリーの核心であり、世界中の地域社会で奉仕を行う土台となるものです。

職業奉仕



平和

行動しよう

職業奉仕を実践例から学ぶことができます。同様または類似した活動をクラブで実施したり、これらの例を参考に現在の活動を見直したりすることをご検討ください。

高潔性と倫理

ロータリーでは、高潔性と高い倫理を重視しています。その中でロータリアンによって生みだされたのが、「四つのテスト」と「ロータリアンの行動規範」の2つであり、職場や生活のあらゆる場面で倫理的行動を実践するための指針となっています。

「四つのテスト」の歴史

「四つのテスト」は、1932年、シカゴ・ロータリークラブ会員で、1954-55年度に国際ロータリー会長を務めたハーバート J. テイラーにより発案されました。倒産寸前の会社を建て直す役目を担ったテイラーは、仕事における全側面において従うべき倫理的指針として「四つのテスト」を創り、このシンプルな哲学のおかげでこの会社は倒産を免れました。その後、1934年に国際ロータリーで採用されて以来、「四つのテスト」はロータリアンが倫理的行動を判断するための尺度として用いられてきました。このテストは、多くの言語に翻訳され、世界中でロータリアンにより推進されています。

ロータリアンの行動規範

「ロータリアンの行動規範」は、「四つのテスト」と並び、すべてのロータリアンが事業や専門職において指針とできる、倫理的行動の枠組みとなるものです。

ロータリーの職業奉仕では、地域社会のニーズに取り組み、支援を必要とする人たちが自らの力で生活を立てていけるよう支援するために、職業の知識とスキルを活用することが求められます。クラブでの活動や職業を通じて充実した職業奉仕を実現できるよう、実践的なアイデアを紹介した本手引きをご活用ください。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

ロータリアンの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。

スキルと職業

職業とそのスキルの重要性を認識するロータリーには、多様な職業や経験をもつ会員がおり、地域社会のさまざまな職業、ビジネス、団体とのつながりを生かした活動が実践されています。会員には、職業スキルを奉仕に生かし、自らの職業をクラブで代表するとともに、職場においてもロータリーの理念を実践する責務があります。

行動しよう

ロータリアン行動グループに参加する：さまざまな専門分野ごとにグループがあり、ロータリアン、その家族、ロータリープログラムの参加者・学友がメンバーとなっています。メンバーは、クラブや地区によって成果あふれる奉仕プロジェクトが実施されるよう、助言したり、協力したりできます。詳しくは rotary.org/ja/actiongroups をご覧ください。

ロータリー親睦活動グループに参加、または新たにグループを結成する：同じ関心や趣味をもつロータリアン、その家族、ロータリープログラムの参加者・学友と楽しく交流できるのが、「ロータリー親睦活動グループ」です。執筆、編集・出版、保健、法律、写真、警察など、多くのグループは特定の職業分野に関連しています。詳しくは rotary.org/ja/fellowships をご覧ください。

奉仕プロジェクトで職業スキルを活用する：科学、医学、機械エンジニアリング、起業、金融、パブリックスピーキング、執筆などの自分の職業スキルを生かして、地域社会に変化をもたらす奉仕プロジェクトに参加しましょう。

地区リソースネットワークで専門知識を生かす：ロータリーの6つの重点分野、プロジェクトの計画と実施、ニーズ調査、成果の測定、あるいは大規模な補助金プロジェクトにおけるその他の側面に関する専門知識をお持ちの方は、地区の国際奉仕委員長にご連絡ください。自分の専門知識・スキルを用いて、地元クラブの活動や大きなインパクトを生むプロジェクトの立案に貢献できます。

職業に関連するロータリー友情交換に参加する：異文化における特定分野の職業体験に関心のある地区間で交換活動が実施できるよう、地区ロータリー友情交換委員長と連絡を取りましょう。若い職業人にも参加してもらい、海外で自らの職業に対する理解を深めながら、異文化交流ができる交換活動を計画しましょう。

「ロータリー」という名称

ロータリーの名称は、創設当初、ローテーション（輪番）で各会員の職場を例会場としていたことに由来します。この伝統は現在も、ロータリアンが自分の職業をクラブで紹介するというかたちで残っています。それぞれのクラブ会員に職業・専門分野やスキルについて例会で紹介してもらいましょう。

職業奉仕の現場から

キャピトルヒル・ロータリークラブ（米国ワシントンD.C.）は、地元の6つの非営利団体とパートナーシップを結んでいます。会員は、戦略コンサルタントとしてこれらの団体に協力し、専門的な立場から助言を提供しています。このパートナーシップの結果、次のような成果が出ています。

1. クラブ会員による奉仕への参加が増え、より大きなインパクトが生みだされた
2. クラブとパートナー団体の可視性が高まった
3. 新会員が増えた
4. 奉仕における地域社会の人びとのチームワークが強化された

職場で高い倫理基準を推進するために

事業や専門職務のリーダーであるロータリアンは、職場や地域社会において模範を示し、高い倫理基準を推進することのできる立場にあります。ロータリアンは、次のような方法で倫理を実践し、奨励できます。

- 従業員の雇用、研修、指導において、誠意、責任、公平さ、尊重について説明し、その重要性を強調する。
- 仕事仲間による模範的な行動を称え、奨励する。
- 顧客、業者、仕事関係者と接する際は、高い倫理基準を遂行し、思いやりと熟慮をもって行動する。
- ビジネスや組織において、社会的・環境的に責任ある慣行を推進する。

行動しよう

現会員・新会員への教育の機会を設ける：「四つのテスト」や「ロータリアンの行動規範」の重要性について話し合みましょう。

倫理的ジレンマについて話し合う：倫理的な課題を含むシナリオに基づいて話し合うワークショップを行きましょう。

倫理の模範を示した人を表彰する：ビジネスや職業において、高い倫理基準に即して行動している人を表彰しましょう。

若い人の参加を促す：若い世代が充実したキャリアを積み上げていけるよう、会員による就職相談会や、ワークショップ、職業開発セミナーを開きましょう。

職場や学校での高い倫理基準の例

- イスラマバード・ロータリークラブ（パキスタン）は、「四つのテスト」をテーマとしたスピーチコンテストを開催しました。生徒たちは英語とウルドゥ語で「四つのテスト」に関する自分の考えと、それをどのように学校や生活の中で実践できるかについて発表しました。ロータリアンは、審査と表彰を行いました。
- エディナ・ロータリークラブとニューウルム・ロータリークラブ（米国ミネソタ州）は、地元3つの高校の生徒を対象に、倫理に関する授業を実施しました。架空企業の経営陣になったという想定の下、生徒たちは企業が直面する倫理的課題への対応策を考えました。
- サンタクルス・ロータリークラブ（フィリピン）は、職場と社会奉仕活動の両方で活躍する地元市民を表彰しています。

職業研修と職業スキルの向上

職業人同士の交流を目的として設立されたロータリーでは、より良い地域社会を築くために、職業やビジネスにおけるリーダーが力を合わせ、アイデアを交換し、協力関係を築くことの重要性を強調しています。ロータリー会員は、職業に関するスキル研修とサポートを人びとに提供することを通じて、自らの職業スキルの向上にも努めています。

行動しよう

ビジネスネットワークの拡張と職業スキルの向上を目的とした地域イベント

- ベントンビル・ロータリークラブ（米国アーカンソー州）は、学生や中小企業の社員が利用できる職業能力開発の機会が少ないことに注目し、地元の女性リーダーと協力して「国際女性デー」にちなんだシンポジウムを開催しました。国際ロータリー元理事も出席したこのイベントでは、地元の学生や社会人300人以上が集まり、女性のキャリア向上と仕事と生活のバランスについての役立つ情報を学びました。
- 米国カリフォルニア州の複数クラブは、ビジネスの研修、ツール、ネットワーキングの機会を若い職業人に提供するためのイベントを開催しました。経験豊かな職業人とキャリアの浅い若者が知り合うきっかけとなったこの1日のイベントでは、起業家と慈善活動家による討論が行われたほか、人として、また職業人として成長し、キャリアを発展させるためのアイデアが紹介されました。

キャリア相談会

- ケープ・ムニョニョ・ローターアクトクラブ（ウガンダ）は、地元高校で毎年、インターアクターを対象とした職能開発や就職指導を提供しているほか、高校生との合同奉仕活動を実施しています。
- バーミングハム・ロータリークラブ（米国アラバマ州）は、提唱しているローターアクトクラブとのメンタリング（個人指導）プログラムを実施しています。このプログラムでは、ローターアクターとロータリアンが二人一組となって職業や市政に関する意見交換をすることで、ローターアクターが将来の職業やさまざまな産業部門、またロータリアンの職業について学ぶことができます。

次世代の意欲を高める

- タマール香港ロータリーEクラブは、若者を対象に、生活と仕事のバランスに焦点を置いたセミナーを実施しました。会員は、旅行、宝飾、娯楽などの産業や起業に関する経験を紹介したほか、履歴書の書き方や面接に関するアドバイスをを行いました。
- マドラス・インダストリアルシティ・ロータリークラブ（インド）は、インターアクターが将来の職業について考えるためのワークショップを実施しました。地区職業奉仕委員長と協力して、若者がキャリア計画を立てるための講習を行ったほか、女子生徒を対象とした特別ワークショップも開き、全体で200名を超える生徒が参加しました。

職業研修チーム

ロータリーの職業研修チーム（VTT）は、実地参加を通じて職業奉仕を行う機会です。職業の専門知識やスキルを有するメンバーで構成されるチームは、訪問先で知識を深めたり、研修を実施したりします。また、現地の人びとや地域全体の知識やスキルを高めることで、地域社会の人びとが自力で問題を解決できるようになり、持続的な変化をもたらされます。ロータリアンは、VTTへの参加を通じて、文化交流や国際親善だけでなく、訪問の後にも持続する影響を残すことができます。

チームの活動がロータリーの6つの重点分野のいずれかに該当し、持続可能性と測定可能性の要件を満たしていれば、ロータリー財団のグローバル補助金をVTTに利用できます。グローバル補助金を利用するチームは、ロータリーに関する一般知識、リーダーシップ・スキル、国際経験、重点分野の専門知識を有する少なくとも1名のロータリアンと、該当する重点分野において最低2年の職務経験を有する少なくとも2名のメンバー（ロータリアンであるなしを問わない）で構成する必要があります。グローバル補助金によるVTTに関する詳細は、ウェブサイト（rotary.org/ja/grants）をご覧ください。

職業研修チームの活動例

- 米国のある地区は、オーストラリアの地区と協力し、原油漏れによる環境への悪影響に関する職業研修チームの交換を行いました。地区補助金を用いたこの交換では、チームメンバーが原油漏れの現場に赴き、被災状況と復旧活動を査定後、分析結果ときれいな水を取り戻すための方法を指導しました。
- 南アフリカのある地区は、地区補助金を使って職業研修チームを同国内の地域社会に派遣しました。チームは、数学、理科、授業管理に関する教員研修を実施。現地教師、保護者、地域社会からの協力も得た結果、この研修によって2つの高校で、大学入試に合格した生徒の数を増やすことができました。
- カンパラ（ウガンダ）では、医療専門家から成るチームが米国から派遣され、現地の外科医を対象とした小児心臓外科手術と術後ケアに関する研修が行われました。このプロジェクトは、ロータリーの6つの重点分野の一つ「母子の健康」に該当し、大規模で持続可能な影響をもたらすという要件を満たしていたため、グローバル補助金を活用できました。

ロータリアン行動グループと職業研修チームの協力

内反足障害を専門とするロータリアン行動グループは、内反足矯正のポンセチ法に関する専門家をロータリアンに紹介しています。具体例として、第4420地区（ブラジル）と第6000地区（米国）によるグローバル補助金の申請を同グループが支援。この2年間のプロジェクトは、職業研修チームを派遣し、整形外科医50名にポンセチ法を指導する15名の研修者を育成することを目的としています。同グループはまた、グローバル補助金の申請を計画している実施国・援助国提唱者を対象に、申請と補助金手続きのヒントを紹介するウェビナーを実施しています。

職業奉仕のリソース

クラブで職業奉仕を推進するために、以下のリソースや機会をご利用ください。

地区奉仕委員長と連絡を取る

地区ガバナーは、職業奉仕の指針とプロジェクトに関する情報を提供できる地区職業奉仕委員長を任命することが奨励されています。地区委員長の連絡先は、地区名簿で調べるか、Eメール (rotary.service@rotary.org) でお問い合わせください。

職業奉仕月間にちなんだ活動をする

1月の「職業奉仕月間」は、クラブや地区によって実施された職業奉仕にスポットを当てる絶好の機会となります。この手引きで紹介されているプロジェクトも紹介できます。

ニュースレター「ロータリー奉仕の最新情報」の受信登録をする

無料で受信できるEメールニュースレター「ロータリー奉仕の最新情報」では、奉仕活動で職業スキルを活用する方法、職能開発プロジェクトを実施する方法、職場でロータリーの価値観を実践する方法など、さまざまなアイデアを紹介しています。定期受信は、[こちらのページ](#)からお申込みいただけます。

ロータリー公式ブログ日本版

ロータリー公式ブログ日本版のページでは、日本のロータリアン、ローターアクト、学友による、さまざまな奉仕の体験談が紹介されています。英語版は[こちら](#)から。

プロジェクトの流れ (ライフサイクル) に役立つリソース

- ロータリーのフォーラム (My ROTARYへのログインが必要) で、奉仕に関するアイデア、意見、体験談を紹介しましょう。職業奉仕に的を絞ったフォーラムグループもあり、新たにグループをつくることもできます。
- ロータリーのアイデア応援サイトでは、クラブの職業奉仕プロジェクトのための支援を募ったり、支援するプロジェクトを見つけたりできます。
- クラブや地区で実施した、または実施中の職業奉仕プロジェクトをロータリーショーケースで紹介ください。日本語でご入力いただけます。

ご質問・ご意見

国際ロータリーの奉仕・参加促進担当部 (Rotary Service and Engagement Department) までご連絡ください。Eメール: rotary.service@rotary.org。



Rotary International
One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, IL 60201-3698
USA
Rotary.org



255-JA—(1017)

